

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 327 号	氏名	諸 藤 陽 一
学位審査委員	主 査 北 岡 隆 副 査 篠 原 一 之 副 査 小 澤 寛 樹		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、脳卒中の予防に有効であることが示唆されている脂質代謝異常症治療薬スタチン（HMG-CoA 還元酵素阻害薬）の作用機序を、血液脳関門への影響の点から解明しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>脳毛細血管内皮細胞を分離・培養した血液脳関門モデルを作製し、スタチンの効果を、経内皮電気抵抗値測定や脳血管関門の透過性の点から検証を行い、さらにクラウディン-5 の発現を蛋白レベル、メッセンジャーレベルで検討するとともに、ゲラニルゲラニルピロリン酸が、スタチンの効果に影響するかどうかを検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、スタチンが、脳血管内皮細胞においてクラウディン-5 の発現を介して脳血管関門機能を強化していることが明らかとなり、今後の脳卒中治療への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は中枢神経系疾患の研究・治療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			